

GAP通信 第1号

JA土佐れいほく
嶺北農業改良普及所

GAPって何だろう？
ISOとは何が違うの？



GAPとは...



GAPは「良い農業の取組」という意味で、
①環境に負荷をかけない
②農薬事故や異物混入を未然に防ぐ
③農作業を安全に行う
という3つのポイントを
目に見える形で確認していくんだ。

ISOは①と②を中心とした取組で、
今までやっていた記録簿や環境点検などの
活動はGAPになっても変わらないよ！

GAPの流れ

〈作付け前点検〉

総会(2/27)で実施



①これからの作業の注意点を点検用紙で確認する。

〈毎日・作業時点検〉



②ハウスや作業場にポスターを飾って、作業前に確認する。

〈毎月チェック〉

毎月11日に実施



③毎月11日の「良い農業の日」に毎日点検、作業時点検シート

〈栽培終了後点検〉
反省会で実施



④チェックしながら作を振り返り、次作への改善点を見つける。



①～④を繰り返して
安心安全な農業を
実践しよう！

優良事例を見てみよう！

事例① 農薬保管庫



↑県外農家の優良事例

ポイント

- ①保管庫に鍵をかける。
農薬が間違えて持ち出され(使用され)ないにする。
- ②農薬が転倒しないよう、きれいに整頓する。
液剤は深底のトレーなどにのせて下段に配置し、振動などで容器が倒れたときでも薬剤がこぼれないようにする。
殺菌剤と殺虫剤は分けておく。

事例② 資材置き場



ポイント

- ①整理・整頓
・資材を床に置かない
・ヒモを巻いて保管する
・防虫ネットをたたむ等

次に使用するとき使いやすい。足りない資材がわかりやすくなる。

点検ポスターをどのように設置しましたか？



例1
ハウスの柱に磁石で貼る。



例2
ハウスの入り口にテープで

作業時に見える場所なら自由に設置しても大丈夫です！
ポスターを見て、点検しましょう！

担当からのメッセージ



毎月の点検はお済みでしょうか？
忘れてしまいそうなときはカレンダーに「点検の日」と書き込むのもいいかもしれません。
今回紹介した優良事例から、**日常に隠れているリスク**に気づいていただければ幸いです。GAPは農作業のリスクを事前に把握し皆様の**安全を守るためのもの**ですので、これから理解を深めていきましょう！
GAPでご不明な点がありましたら、JA土佐れいほくの橋本、または普及所の竹村と吉田までお問い合わせください。

TEL JA:0887-82-2803
普及所:0887-82-0129